

**地域に学び、地域と共に生きる子どもをめざして****高浜町立 内浦中学校**

## 1 取り組みの概要

## (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	(3)回
地域及び家庭への学校公開	4回(のべ)4日

## (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	18人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他( )	人

## (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

## ○ 具体的活動内容

## 内浦の良さ発信！「内浦小中プロデュース ドコイコ!ナニシヨ!ミニツアー」

「内浦地区の将来の発展に欠かせないものは若い人たちのアイデアと力である。」という地域の願いをふまえ、「ふるさとの良さを学ぶこと」「それを発信すること」で、地域活性化につながればと考え、昨年度に引き続き、高浜町まちづくり課の連携協力のもと「ドコイコ!ナニシヨ!ミニツアー」を企画し実行した。これは、内浦地区をめぐるツアーに、一般参加者を募り、内浦の良さを体験してもらおうとするものである。



## ◎ ツアー当日までに

昨年度の反省をもとに、それぞれの生徒がツアーを企画し、まず、本校と同じ規模である敦賀市立西浦中学校の生徒に、IP電話を通じてプレゼンテーションを行った。そして、企画に対する意見や感想を聞いた

り、好きなツアーに投票してもらったりした。その後、企画の修正などを行い、どの企画を採用するかなどについて意見をいただくために、地区の活性化委員会の方やまちづくり課の方にプレゼンテーションを行った。その結果、『内浦小中



学生が案内する内浦フォト巡りツアー「レンズでのぞく神秘の内浦」に

決定した。そして、「雨の日の日程はどうするのか。」「それぞれの役割分担は」など、細かい打ち合わせを重ね、10月23日(日)にドコイコ!ナニシヨ!ミニツアーが決行された。



## ◎ ツアー当日(※お弁当・ガイド・保険付)

【行程】9:30 受付→(五色山公園へバスで移動)→ 10:00 開始式

10:15 フォトめぐりツアー(五色山公園・杉森の泉・聖ヶ滝・聖石・日引の棚田)

→12:15 みんなで昼食 →13:00 写真立てづくり →14:00 終了式

お昼は学校にもどり、生徒たちが考えた内浦の食材を使ったお弁当を提供した。昼食時には、地域の方々が、特産品である五色貝や地元で取れた野菜などのバーベキューをしてくださり、賑やかな昼食となった。午後は、内浦の景色を撮った写真を入れるフォトフレーム作り(ドライフラワー等を使って)を、地域の方にお世話になりながら行った。





## ○ 成果と課題

### 【子どもたちの学びの成果】(中三生徒の感想)

このツアーの体験を通して、私が感じたことを一言で言うと、「結いの心」です。「結い」とは、地域で助け合いながら自らを治めていく「自治の心」です。まちづくりとは何か、地域活性化とは何か、このことを考えたとき、ぼくはやっぱりそこに住む人たちを思い浮かべます。全員が参加し、みんなで盛り上げようという心はまさしく「結いの心」という言葉にぴったりです。その言葉はとても温かく、人と人の絆を深めます。私たちはこの温かい地域で大きくなったということを忘れずに、「結いの心」で将来もまちづくりに参画していきたいと思えます。

### 【次年度に向けて】

今年度は中学1～3年生全員で企画から運営まで行った。ツアーのガイドは、小学生が行ったが、子どもたちの実態を考慮し、小中の連携を加味しながら学習内容と活動の見直しをしていかねばならない。また、この活動により、コミュニケーションのスキル、例えば、交渉したり、案内したりする力についてはついてきたが、少人数であるが故に、同年代の子どもたちとのコミュニケーションの力は評価しづらい。企画の対象を同年代の子どもたちにするなど、工夫していく必要がある。



**地域に学び、地域と共に生きる子どもをめざして****高浜町立 内浦小学校****1 取り組みの概要****(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	(3)回
地域及び家庭への学校公開	4回(のべ)4日

**(2) 地域人材の活用(のべ人数)**

講師・ゲストティーチャー	22人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他( )	人

**(3) 特色ある活動**

テーマ「ふるさと教育」

**○ 具体的活動内容****ふるさと内浦のガイドの達人になろう**

本校では、内浦地区の地域活性化を目的として、高浜町「まちづくり課」の連携協力のもと「ドコイコ！ナニシヨ！ミニツアー」を企画し、実施している。これは、内浦地区を巡るツアーに一般参加者を募り、内浦の良さを体験してもらおうとするものである。

ツアー実施に向けて、内浦地域活性化委員会を児童生徒で組織し、「企画部」と「コミュニケーション部」に分かれて活動をしている。企画部は中学生、コミュニケーション部は小学生(4年生と6年生)が担当している。コミュニケーション部の児童は、主に中学生が企画した「ドコイコ！ナニシヨ！ミニツアー」のガイド役をした。

学習活動の流れは次のとおりである。

**(1) 昨年度の振り返り**

昨年度の様子をビデオをもとに振り返り、課題等についての話し合った。課題として挙げたのは、誘導や気づかい、積極的に関わること等である。

**(2) 「ドコイコ！ナニシヨ！ミニツアー」に向けての準備学習**

- ①調べる…ガイドする場所について、インターネットや書籍、聞き取り等で情報収集。
- ②下見をする…ガイドする場所へ実際に行き、紹介できるネタ探し。
- ③下書きをする…インターネットで調べたことや下見のメモ等をもとにガイド用の原稿の作成。
- ④チェックする…中学生や地域の方に原稿を見てもらい、アドバイスを受ける。
- ⑤清書する…アドバイス等をもとにガイド原稿を清書
- ⑥練習をする…原稿を覚え、互いにガイド役や参加者役になってのガイド練習。

**(3) 「ドコイコ！ナニシヨ！ミニツアー」のガイド活動****◎内浦小中学生が案内する内浦フォト巡りツアー****「レンズでのぞく神秘の内浦」(10/23)**

- 9:30 受付→(五色山公園へバスで移動)  
 →10:00 開始式 →フォトめぐりツアー開始  
 <杉森の泉・聖石・聖ヶ滝・日引の棚田>  
 …各所でガイド活動  
 →12:15 みんなでお弁当 →13:00 写真立てづくり…作成のお手伝い →14:00 終了式



児童は、フォトめぐりツアーで訪れた各所でのガイド役を立派に務めた。お昼は学校にもどり、子どもたちが考えた内浦の食材を使った「お弁当」を提供した。また、昼食時には、地域の方々が、特産品である「五色貝」や地元で取れた野菜などのバーベキューをしてくださり、賑やかな昼食となった。

午後は、内浦の景色を撮ったお気に入りの写真を入れる「フォトフレーム作り」を、地域の方々にお世話になりながら行った。

## ○ 成果と課題

～学習の振り返りでの児童の感想から～

### (1) 成果

- ・ガイドの原稿をしっかりと覚えて、原稿に頼らずにガイドすることができた。
- ・ていねいな言葉や適切な速さで説明することができた。
- ・お客さんが全員集まっているかなど様子確かめながらガイドすることができた。
- ・お客さんに写真撮影ポイントなどをアドバイスすることができた。
- ・お客さんからの質問には分かる範囲で答えられた。また、答えられないときは、「分からないので、調べておきます」など臨機応変に対応することができた。
- ・内浦の地域について聞き取りをしたり、調べたりすることで、自分たちの地域の良さを改めて知ることができて良かった。様々な人に、内浦のことをもっと知ってもらいたいと思った。

### (2) 反省と課題

- ・顔をお客さんに向けてガイドしていたが、しっかり顔や目を見ながら話せなかった。
- ・バスでの移動やガイドをしていないとき、積極的にお客さんと話ができなかった。

～次年度へ向けて～

今回は、中学生が企画した「ミニツアー」のガイド担当として参加した。自分で下見や聞き取り等をもとにガイド原稿を作った。ガイド内容をしっかりと伝えることは、当日の様子や参加者の感想からも概ね出来ていたと思う。

しかし、他者と積極的に関わりをもつことについてはまだ十分ではない。原稿以外の例えば内浦の学校の事をアドリブで話すなど、こちらから参加者に話しかけることはできていなかった。

終了時に行った参加者のアンケートをもとに来年度は、ガイドをするねらいをしっかりと認識させ、相手のとって分かりやすく、地域の良さに気づいて地域に興味をもってもらえるような学習活動になるよう工夫し、地域とや行政の方々と連携しながら、積極的に他者との関わりをもつ態度(コミュニケーション力)を育てていきたい。

